

本市出身・在住の彫刻家 赤井靖武さん ―創型展 文部科学大臣賞・宮城県芸術祭受賞―

第56回宮城県芸術祭彫刻展で、本市出身・在住の彫刻家 赤井靖武さんが「凜」という作品で最高賞の「宮城県芸術祭賞」を受賞しました。同賞の受賞は2度目です。赤井さんは、今年5月に東京都で行われた「第67回創型展」でも、「陽だまりの丘」という作品で最高賞に次ぐ「文部科学大臣賞」を受賞しています。

赤井さんは「凜」について「現状に満足することなく、地に足を着けて、次の目標を見据えるという思いを込めました」と話し、続けて「御座船龍鳳丸の龍頭を彫刻した塩竈市の彫刻家佐藤允了さんは、実は、私の先生（及川茂）の兄弟子で（師弟関係でいうと）叔父にあたる方です」と本市

の彫刻家の縁を感じる話を教えてくれました。

赤井さんは「彫刻家を志して、ちょうど20年になります。これから、若い芸術家、彫刻家を目指す人たちが増やし、その人たちが作品を発表できる場を作りたいと考えています。塩竈市出身の彫刻家として、地域のために自分ができることだと感じています」と意気込みました。

菅野美術館では、宮城県芸術祭菅野美術館賞受賞者の作品を集めた展示が12月11日（水）～25日（水）（16日）月、17日（火）は休館に行われます。赤井さんの作品を見ることができそうですので、皆さんも足を運んでみてはいかがでしょうか。



▲「凜」蓮を見つめる猫には自身の思いが込められている



▲「陽だまりの丘」一つの木材から彫り出されている。「凜」も同様に彫り出され、2つの作品は同じ木から作られた



▲赤井靖武さん

しおがまの昔・懐かし

思い 出写真館 ⑦

今年で開設から90年を迎えた塩竈市魚市場。今は、多くの人でにぎわう塩竈市魚市場開設50周年記念チャリティフェスティバルの様子と魚市場の歴史の一部を紹介します。

昭和4年4月に魚市場が港町に開設され、昭和11年頃には船主や水産加工業を目指す人の移住が目立つようになりました。その後、戦争による大きな影響がありましたが、戦後は漁船の大型化などにより大量水揚げが続くようになり、それに対応するため新漁港の整備とともに、昭和40年に現在の場所へ魚市場が移転、新設されました。

平成29年に建て替えられた魚市場にはおさかなミュージアム「seimaru」をはじめ、楽しめる場所がたくさんあります。皆さんも魚市場へ足を運んでみてはいかがでしょうか。

（参考文献「塩竈市史Ⅱ」、「塩竈市魚市場50年の歩み」）



▲昭和55年撮影

主に昭和40年代から平成10年頃までの塩竈の写真を募集します。この年代以外でも懐かしい写真がありましたら、ぜひお寄せください。詳しくは市ホームページをご覧ください。政策課市政情報係（☎355-5728）まで問い合わせください。

葬儀式場 城東館 雅庵

火葬式

15.0 22.5 27.5
万円～ 万円～ 万円～
(税別) (税別) (税別)

家族葬

30.0 45.0 55.0
万円～ 万円～ 万円～
(税別) (税別) (税別)

上記のタイプは、いずれも生花・供物・棺を含んだ安心のセット価格です。

“優しい”小さな葬儀シリーズ
どんな事でもお気軽に、ご相談下さい

〒985-0871 宮城県多賀城市留ヶ谷3丁目6番10号
城東葬祭 業務運営会社【株式会社 雅庵】

雅庵 城東館

お取扱ひ品目

- ・墓石の修繕
- ・納骨
- ・仏壇じま
- ・法号彫刻
- ・人形供養
- ・墓じま販売
- ・遺品供養
- ・仏具販売
- ・遺品整理
- ・送骨（海外含）

検索

TEL 022-368-8810 (代)

24時間365日対応

ヨークベニマル塩釜店近く、向泉院様道路向 FAX: 022-368-8820

